

## 二液無溶剤型エポキシ樹脂系プライマー リフレタフボンドα



## リフレタフボンドαの特長

## 1. 接着性

- ・コンクリートや鋼材に対し接着性が優れ、躯体との一体化が長期に確保できます。
- ・湿潤状態にあるコンクリート面でも十分な接着性が得られます。
- ・亜硝酸リチウムが混和された断面修復材との付着性が良好です。

適用例：リフレモルセットSPα工法、リフレモルセットSPハイパー（リフレα40混和配合）

## 2. 施工性

ハケ、ローラー等で容易に塗布することが可能で作業性に優れています。

## リフレタフボンドαの用途

- ・既存コンクリートとコンクリートの打ち継ぎ、モルタルの塗り継ぎ

注意：リフレタフボンドαの強度発現が日単位で増進するため、時間単位で供用開始や交通開放が求められる**超速硬系無機系断面修復材等への使用はできません。**

## 使用方法

- ・セット単位または主剤、硬化剤を配合比に従い計量して下さい。
- ・主剤、硬化剤をハンドミキサーで空気の巻き込みが起こらないように均一になるまで十分に低速で混合攪拌して下さい。
- ・打設有効時間内にモルタルを打設してください。

## 使用上の注意

- ・シンナーや水を混入させないでください。
- ・硬化後にモルタル、コンクリートを打設すると付着不良になるため絶対に打設しないでください。万が一、硬化してしまった場合には、再度リフレタフボンドαを塗布してください。
- ・接着面のレイタンス、油類等の汚れを十分に除去してください。
- ・浮き水がある場合は、拭き取ってください。

## 取り扱い上の注意

- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけてください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- 取扱後は手、顔をよく洗ってください。
- 不浸透性の保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/防塵マスクを着用してください。
- スプレー/ミスト等を吸入しないでください。
- 環境への放出を避けてください。
- 使用前にSDSを入手し、ご確認ください。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。

## 保管・廃棄

- 本製品は消防法における危険物に該当します。法令を遵守した取り扱いをお願いします。
- ・主 剤：指定可燃物 合成樹脂類（その他のもの）
  - ・硬化剤：危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
  - ・保管場所には危険物を貯蔵し取り扱うために必要な採光、照明及び歓喜の設備を設けてください。
  - ・冷暗所で酸化剤、酸から離して保管してください。
  - ・施錠して保管してください。
  - ・廃棄する際は産業廃棄物として国や地方自治体が定めた法令を遵守して処理してください。



荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

荷姿：10kgセット（主剤7.00kg, 硬化剤3.00kg）

主 剤…白色グリース状

硬化剤…淡黄色透明液状

混合物…白色粘稠液状

## 配合比

主剤：硬化剤 = 7：3（重量比）

比重：1.1（硬化物）

## 標準塗布量

平滑面：0.2kg/m<sup>2</sup>

粗 面：0.45kg/m<sup>2</sup>（下地の状態により変動します。）

## 可使時間の一例

温 度 (°C)	5	10	20	35
可使時間 (分)	160	120	60	16
打設有効時間	8	8	3	2

※モルタル・コンクリートの打設有効時間とは、リフレタフボンドαの混練開始から、モルタル・コンクリートの打設を終了しなくてはならない時間です。

## 物性値の一例

試験項目	試験方法	試験条件	測定値例	社内規格値
圧縮降伏強さ (N/mm <sup>2</sup> )	JIS K 7208	20°C 7日間	68.5	50以上
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	JIS K 7203	20°C 7日間	72.0	40以上
引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	JIS K 7113	20°C 7日間	48.0	25以上
引張せん断接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	JIS K 6850	20°C 7日間	18.6	13以上
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	建研式	湿潤面 20°C, 7日間	3.6	1.5以上または コンクリート破壊

※測定結果の一例であり、品質保証値ではありません。

## 毒物及び劇物取締法

主剤・硬化剤：該当しない